



討議資料

県議会報告

答弁

① 上関原発や米軍基地の問題に対しては、国の政策を基本

例はあるのですか。
② 沖縄県知事の辺野古埋立承認の取消しに対して、国は不服申立てや代執行の手続きを行っています。法律を無視した国の一方的なやり方は、地方自治の明白な侵害です。知事は、どのように考えていますか。また、このような事例はあるのですか。

質問

① 知事は、原発や基地問題に関して地元意向を尊重するとされていますが、地元の意思と国の方針が異なる場合であっても、沖縄県のように地元の意思を尊重されるのですか。

米軍再編と地方自治について

平成27年12月定例会は、12月2日から18日まで開かれ、補正予算を含む55の議案が審議されました。今議会での一般質問は、私



を含め14名でした。私の質疑の要約をお届けします。詳細は、議会報告の集会でお伝えいたします。



のコメント

辺野古のことは一地域の問題ではなく、民主主義や地方自治という観点からは、私たち自身の問題です。しかし、知事は、「沖縄問題にはコメ

的に尊重し協力する一方で、地元市町の意向を踏まえ、県民の安全・安心を守るため言うべきことは言うとの姿勢で対応していきます。
② 沖縄の問題については、知事として申し述べる立場にはありません。過去に、国による不服申立てや代執行が行われたことはありません。

質問

① 10月15日の岩国爆音訴訟の判決により、騒音の違法性が認定され、原告約650人に総額5・5億円の損害賠償が認められました。空母艦載機の移駐について、県は、安全・安心という観点からは問題ないとされていますが、判決では、騒音がさらに高まるとされています。この点を調査し直すべきだと思います。

岩国基地の騒音問題について

「状況より悪化するとは言えない」は妥当であり、その見直しを求めるとはありませぬ。
② 要請書については、関係機関等と協議した上で、対応を検討します。

答弁

① 平成18年に示された国の騒音予測「周辺住民の生活環境は、全体として現

ントできない・・・」などと、誰に遠慮しているのか、いつもの逃げの一手。

② 原告団から、騒音測定箇所の増設、住居地上空の飛行禁止などに関する県知事宛の要請書が出されています。いずれも、前向きに対応すべきだと思えます。

傍聴記

県政の
目線はいつも永田町
議席表
不真面目議員監視でき
(せいりゅう)



のコメント

「いくら国防上、基地が必要だとしても、住民の生活を犠牲にすることは許されない」として、騒音の違法性が認められたことには、大きな意義があります。6年間で30回の口頭弁論を経て示された司法の判断は重く、行政はその内容を尊重すべきです。

県の財政運営について

質問

議会初日の議案説明の中でも、知事は財政の厳しさを強調されていますが、一向に改善されていません。県債残高と財源調整用基金の最近の推移と、他県との比較を教えてください。財政再建に向けてトップの強いリーダーシップが必要だと思いますが、知事の決意をお聞かせします。

答弁

一般会計の県債残高は、今年度末で1兆2,800億円、財源調整用基金は減少傾向にあり、22年度の368億円から今年度末には102億円となります。他県との比較では、県債残高は全国中位、基金残高は低位にあります。今後は、「持続可能な財政構造の確立」を重点施策に掲げ、一般分の県債発行額を公債費以下に抑えるなど県債残高の縮減を図るとともに、一層の財源確保を図り、基金残高の確保に努

いじめ問題について

質問

① いじめの再調査で、山口県の公立学校のいじめ件数が、約2・5倍の2170件になりました。いじめを小さいうちに見つけることが大切であり、いじめだけでなく不登校の児童生徒を救うための支援教室を充実すべきだと考えます。

② スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー

答弁

① いじめ等の対応については、「心の教育推進の手引き」等を活用し、教育相談担当者を中心にきめ細かな相談を実施しています。不登校児童生徒の支援を行う

の配置状況はどのようなになっていますか。また、正規雇用・非正規雇用の割合、活用状況について教えてください。

めます。



のコメント

借金は増加し、貯金は底をつくというのに、「財政の健全化に向けて努力する」と言うだけで、具体的な対策が何も出てきません。危機意識が足りず、知事のやる気が見えないのが残念です。将来につけを回さないよう、財政状況を常に注視していくつもりです。



その 1 来年度予算編成について

山口県の財政は今危機的状況です。借金にあたる県債残高は1兆3千億円（県民一人当たり100万円近く）、そして貯金にあたる基金はたった100億円です。年末から年初にかけて、来年度予算（28年4月から1年間）を編成する時期ですが、私は一般質問で、県債残高がこれ以上増えないよう、また次代の県民に負担を残さないよう厳しい制限を設けるよう質しました。

その 2 読めない漢字

今回も、議場での質問で漢字が読めない議員がいました。「払拭（ふっしょく）」です。自分で苦労して書いた質問原稿ならば、読めないはずはないのですが、ゴーストライターがいるのでしょうか？ それとも、質問原稿と、回答（県の答弁）を書いた人は、同じなのでしょう？ そんな邪推をしています。



のコメント

大切な子どもたちが犠牲になることは、何としても防がなければなりません。学校と家庭、そして専門家が協力して、いじめを早期に発見し、丁寧な相談ができる体制がさらに充実されるよう、引き続き県教委に促していきます。

適応指導教室については、市町教委において、順次設置が進められています。

② スクールカウンセラーは、まだ十分ではありませんが、すべての市町がスクールソーシャルワーカーを配置しています。

雇用形態は、すべて非常勤職員です。26年度の活用状況は、スクールカウンセラー70人に対し、延べ相談件数77,695件、スクールソーシャルワーカー52人で児童生徒485人に支援を行なっています。